

「校長室」 通信

第7号

都城市立姫城中学校だより

令和3年8月2日（月） 文責：校長 永山博一

8月は、平和について考える機会です。

8月 6日 広島平和祈念式典【規模縮小】

8月 9日 長崎平和祈念式典【規模縮小】

8月15日 全国戦没者追悼式（終戦の日）

76年前、第二次世界大戦で戦死した旧日本軍は、約230万人、空襲や原爆で死亡した一般市民は、約80万人と言われています。

小6の修学旅行では、鹿児島県知覧の特攻隊資料館行ったと思います。また、中学2年生は、令和4年2月の修学旅行で長崎に行き、原爆資料館・被爆体験者の講話等を聞く平和学習を行う予定です。

現在も世界中では、毎日命の危機にさらされている国や地域、子供たちもいます。7月～8月にかけては、テレビ番組や新聞記事で、戦争や平和について、見聞きする機会が多くあります。

平和な日本にいることを感謝するとともに、戦争や争いの現実をこの時期に学べるといいと思います。

8月15日正午には、全国で黙祷（もくとう）の時間が設定されます。

● 都城地区大空襲

昭和20年(1945)3月18日の西飛行場（都原町）への空襲を始まりとして、東飛行場（都北町～三股町蓼池付近）で断続的に空襲が続いていた都城ですが、広島に原子爆弾が投下された8月6日に大空襲を受けました。

正午過ぎから始まった空襲は、市街地の西部地域に焼夷弾を投下した第一波から、消火活動



の妨害のための機銃掃射を繰り返した第四波攻撃まで続き、松元・八幡・牟田・宮丸・姫城・大王・上町・中町・前田・平江・小松原の各町が焼失、52人が犠牲になりました。

【都城市：1945年 消火活動をする人々】

● 都城からの特攻隊と飛行場

日本軍は、敵艦に体当たりする攻撃、いわゆる「特攻」を行いました。都城の飛行場からは昭和20年4月6日から7月1日にかけて全部で10隊、79人が出撃していきました。

最初の出撃は、昭和20年(1945)4月6日14時10分、「都城西飛行場（都原町）」から沖縄周辺に向けた第一特別振武隊8人でした。

水泳・硬式テニス 九州大会出場



【左 湯谷さん・右 井野さん】

背泳ぎスタート二見さん

【九州大会出場】

水 泳

○1年 二見暖々花【県2位】

女子100、200m背泳ぎ

硬式テニス

○3年 湯谷綸久【県2位】

男子シングルス

○2年 井野篤太郎【県3位】

第5波 コロナ感染防止に努める

第5波コロナウイルス感染が、若い世代を中心に全国、そして宮崎県内にも広がりつつあります。2学期は、体育大会、秋季中体連、合唱コンクール等、大きな行事が予定されています。この夏休みは万全の対策を生徒の皆さん、ご家庭でもお願いいたします。

- マスク着用（熱中症に注意しながら）
- 手洗い、うがい ●毎日の検温
- 不要な外出を控える ●人混みを避ける
- 感染された方への偏見や差別がないように

校長の独り言 『テレビでオリンピック』

東京オリンピックが開幕。前半戦で、柔道・水泳・卓球体操個人・スケートボード・ソフトボール・フェンシングで金メダル、他の競技でも銀・銅メダルラッシュが続いています。インタビューでは、涙ながらに必ず「家族や監督、チームメイト、スタッフ」への感謝の言葉、そして「苦しく、つらい日々があった」ことを話すメダリストがほとんどです。一方ではメダル候補でありながら負けることもあります。代表になれなかった選手は3年後のパリ五輪へ向け練習を始めている人もいます。コロナ感染が気になりますが、スポーツのエネルギーや感動をテレビからですが、是非味わって下さい。夜になるとリモコン片手に、多くの競技を見ながら、ゴールや得点演技にガッツポーズしている59歳のおじさんです。大リーグ大谷選手のホームラン王も期待。スポーツで元氣！